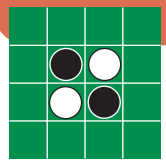


「お待たせして…」

総合内科部長 浮海 洋史



「早く」と、子供とオセロをしているとつい言ってしまう。次の手を考える子の間がとて長い(と感じる)からだ。私に負けまいと懸命に策を考えている様子なのだ。...

査内容・治療方針・処方内容などが表示されている。それを開くひとつ前に来院患者一覧という画面がある。受け付けされた患者様のお名前と来院時刻が表示されているので、診察までどれだけお待たせしたかが一目で分かるようになっている。...



やさしい 疾患手帳

病理ってなに?

病理部長 安見 和彦



Profile プロフィール やすみ かずひこ 氏名/安見 和彦
●所属...病理部 ●役職...病理部長
●専門分野...一般診断病理
●自己PR...患者さんとは直接お会いしませんが、よろしくお願いします。
●趣味...食べること
●好きな食べ物...おいしい料理とワイン
●星座...かに座 ●血液型...A Rh(+)



皆さんは病理科という診療科があり、病理医という医師がいるのをご存知ですか。大学などの研究施設で顕微鏡を見て研究をしている医師が病理医でしょう、という方もいらっしゃるかも知れません。...

術中迅速診断 手術前に生検診断ができない場合、手術中に採取された病変組織を短時間に診断します。それを元に臨床の先生が手術の方法を確認します。...

ボランティアサークル「陽だまり」が中日ボランティア賞を受賞



中日ボランティア賞を受賞された皆さま (物部さんは前列右3人目)

10月19日(水)、第28回中日ボランティア賞贈呈式がホテルコンコルド浜松で開催され、当院ボランティアサークル「陽だまり」が長きに渡る活動が評価され表彰されました。

中日ボランティア賞は、様々な分野で社会福祉に貢献している団体を讃えるもので、今年は7団体が表彰されました。いずれの団体の活動も地道な努力によって継続され、社会に温かい心の大切さを伝えていきます。

贈呈式で、受賞者代表の挨拶を行った物部範子さん(当院ボランティアサークル代表)は、「活動は、特別なことをしているわけではなく、日常の一環として行っています。してあげるのではなく、させていただくという気持ちを持ち、笑顔で人に接するよう心掛けています」とボランティアとしての心構えを語ってくれました。

「患者さんから声掛けやお礼の言葉を頂くたびに、良い関係になっていると感じています。これからも、患者さんの癒しと潤いの活動になるよう努力していきたいです」と静かに微笑んでくれました。

第14回浜松赤十字病院院内学会について

院内研究部会 柴田 幸信

平成23年10月18日(火)、院内研修ホールで第14回院内学会を開催しました。

発表は10題で、各部門より演題が寄せられました。概略は、医師支援業務(企画課)、医療と介護の視点の違い(地域医療連携課)、手術室看護師の災害に対する関心と意識(手術室)、入院センター開設の効果(看護部)、訪問看護ステーションに対するPT・OTの関わり(リハビリテーション技術課)、睡眠時無呼吸症候群のスクリーニングにおける夜間SpO2モニター(検査課)、マンモグラフィ検査施設画像認定取得(放射線画像診断課)、簡易懸濁法アンケート(薬剤部)、気腫性胆嚢炎の1例(外科)、アミオダロンによる薬剤性肺炎の1例(循環器内科)でした。



演題を発表する神田医師

多くの職員の出席を得て、熱心な質疑応答が行われ、院内各部門の交流が図られました。最後に院長から演題ごとの講評を含めた総評があり、盛会のうちに幕を閉じました。

～第1回 職場改善活動表彰事例発表会～

院内学会前には、職場改善活動の事例発表会が行われ、6つの事例が発表されました。

【発表事例】

- 準グランプリ「正面玄関前の横断歩道設置について」(看護部、コンシェルジェ)
● 院長特別賞「病棟ガラス清掃の頻度増」(シービーエム)
● サービス向上賞「朝食時間の早期化」(栄養課)

節電の取組み

当院では、今日の電力需要・供給状態を考慮して、少しでも多くの場所に電力を供給できるよう、院内照明の一部消灯など節電に協力しています。

この結果、この夏の節電対策効果は、前年と比べて電力使用量が10%低くなりました。当院では冬場に向け今後も節電対策を継続して実施していきます。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

